

III 愛知県の水産施策

① 漁業生産基盤の整備

① 干潟・浅場の造成

伊勢湾・三河湾では沿岸域の開発に伴い、多くの干潟や浅場が喪失し、海の生産力の低下や環境の悪化が進行しています。

このため県では、失われた干潟や浅場を再生させる「干潟・浅場造成」による漁場の生産力の向上に取り組んでいます。

アサリなどの貝類が住みやすい漁場になることで、海の環境改善につながることを期待されています。



干潟・浅場造成（西尾市地先）

③ 沿岸漁場の整備

資源の増大と効率的な操業を行うため、コンクリートブロック等の人工魚礁を設置し、魚介類の生息・滞留の場や移動経路となる漁場を整備しています。



魚礁の設置（田原市沖）

④ 漁場環境の監視

夏季の貧酸素水塊の発生が著しい三河湾の漁場環境を監視するため、湾内3カ所に海況自動観測ブイを設置しています。

② 漁港や漁村の整備

安全で効率的な漁業活動が行える漁港や漁村の整備を進め、新鮮で良質な水産物を供給できる体制を確保しています。



高度衛生管理型の魚市場（西尾市）



三河湾の海況自動観測ブイ設置位置

②水産資源の持続可能な利用の推進

①栽培漁業の推進

栽培漁業とは、水産資源の維持・増大を図るため、人間の手で育てた魚介類の子どもを放流することで、「つくり育てる漁業」とも呼ばれています。

愛知県では、昭和53年に「栽培漁業センター」を開設し、クルマエビ、ガザミ、トラフグなどの種苗の生産を行っています。

栽培漁業の流れ

種苗生産



栽培漁業センターで卵からふ化させて育てます。害敵がないので大量に育てることができます。

放流



漁業者が種苗を買い取り、魚種に応じた最適な海域に放流します。

漁獲



自然の中で成長して大きくなったものを漁獲します。

栽培漁業センターで種苗生産している魚介類

 ↓ クルマエビ	 ↓ ガザミ	 ↓ クロダイ	 ↓ アユ
 ↓ アワビ	 ↓ ナマコ	 ↓ トラフグ	 ↓ ヨシエビ